



国土交通省から

赤谷川流域の災害復旧に関する水理模型実験見学会を行いました

3月30日、久留米市で、赤谷川・乙石川・小河内川の合流部分や湾曲箇所などの洪水の流れを実際に目で確認する水理模型実験を行いました。

水の流れを確認した地域の皆さんから「実際に流れが確認できた。水があふれる場所は工夫しないといけない」などの意見が出されました。

今回の実験結果や地域の皆さんからの意見を踏まえ、河道計画を策定するとともに、引き続き赤谷川流域の復旧工事を全力で進めていきます。

☎ 筑後川河川事務所九州北部豪雨復興出張所（☎ 63-3100）



▲ 縮尺 1/30 の模型を確認する様子



住宅再建の引越費用や民間賃貸住宅の初期費用を助成します

平成29年7月九州北部豪雨により、応急的な住まいでの居住を余儀なくされた人を対象に、県内の再建先への引越費用や民間賃貸住宅の初期費用を助成します。

■対象…以下のいずれかに該当する世帯

- ① 応急仮設住宅等へ入居している世帯
- ② 「全壊」または「大規模半壊」の世帯
- ③ 「半壊」で、その住宅を解体した世帯
- ④ 「長期避難世帯」として認定されている世帯

■助成額（1世帯あたり1回）

- ① 引越費用一律 10万円
- ② 民間賃貸住宅の初期費用一律 20万円

■申請方法…住まいの再建後に、市復興推進室または

被災者支援窓口（朝倉支所、杷木支所）に提出書類を持参してください。

■申請期限…以下のいずれか早い日まで

- ① 住まいの再建日から6カ月を経過した日
- ② 令和2年3月31日

※平成31年3月31日までに住まいを再建した人は、令和元年9月30日まで

■提出書類…市復興推進室へ問い合わせ、または県ホームページを確認してください。県ホームページ内で「福岡県住宅被災者自力再建促進事業」で検索。

☎ 市復興推進室（☎ 28-7137）または福岡県住宅計画課（☎ 092-643-3731）

4月から復旧・復興に専門的に携わる職員の紹介

一日も早い復旧・復興のため、尽力します 総務部付部長（復興推進担当）野中 智弘 のなか ともひろ

一日も早い復旧・復興には、国、県、市と地域が連携して取組を進めることが不可欠です。これまでの朝倉県土整備事務所での災害復旧経験や知識を生かして、被災地域の皆さまの心に寄り添いながら誠心誠意、全力を尽くします。

【略歴】昭和47年八女郡広川町生まれ。福岡県に勤務し、ダムなどのインフラ整備や企画調整業務に従事。朝倉県土整備事務所（平成29・30年度）などを経て就任。



住宅再建に向けた個別相談会（空き家バンク相談会も同時開催）

期日	場所
5月8日（水）	朝倉生涯学習センター1階 研修室
5月25日（土）	らくゆう館2階 研修室1・2

■時間…10時～16時。1組あたり約1時間。
※相談希望の人は事前予約をお願いします。25日（土）は、弁護士による無料相談も実施（予約不要）。

【住宅再建に向けた個別相談会】

■持ってくるもの…年収が分かる書類や再建費用が分かる書類（持っている場合）

☎ 市都市計画課（☎ 28-7582）

【空き家バンク相談会】

■持ってくるもの…固定資産税納税通知書など

☎ 市ふるさと課（☎ 28-7603）